

備前市教育に関する大綱（案）に対する意見募集の公表について

備前市教育に関する大綱（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、要旨と総合教育会議の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

意見募集期間 令和8年2月9日（月）～27日（金） 意見募集結果 2件（2名）

No.	該当部分等	意見等の要旨	ご意見に対する総合教育会議の考え方
1	基本方針	<p>○教育における人口減少問題への取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の社会科において人口減少問題を取り入れ、子どもにも関心を持ってもらいたい。 <p>○備前市歌の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での音楽はもとより、教育活動の様々な場面で市歌を取り上げていくことで、子どもたちに市の良さを感じてもらえるのではないか。 	<p>○小学校社会科副読本「備前市たんけん」において、合併による人口や暮らしぶり等の変化について扱っています。市の大きな課題の一つである、人口減少問題や、外国人との共存などについて、学びを深めていきたいと考えています。</p> <p>○市歌につきましては、郷土への愛着や誇りを育む観点からも意義あることだと認識しています。いただいたご意見については、機会を捉えて各校長へ伝えてまいります。なお、学校における具体的な教育内容については、学習指導要領を踏まえ、各学校の教育課程の中で適切に判断されるものと考えております。</p>
2	各取組項目	<p>○学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICT」の文言は今更感が強く、逆に情報リテラシー教育にも重点をおくべきでは ・読解力不足が指摘されている昨今の子供たちには、読書体験等、アナログな環境が不足しているのではないか ・理想を掲げてそれに邁進することも必要だが、確実に基礎をかためる地道さを忘れてはならないと思う。派手さより、堅実さを表明してほしい。 	<p>○ご意見の通り、情報機器の活用だけでなく、情報を適切に読み取り判断する情報リテラシーの育成や、読書体験など読解力の基盤となる学びも重要であると認識しております。本市では、ICTの活用を目的とするのではなく、探究的な学びを支える一つの手段として活用するとともに、読書活動の充実や豊かな歴史・文化・自然への体験活動などを通して、人としての基盤づくりを通じて確かな学力の定着を目指します。</p>